

LOOK
LIKE



交通事故で
亡くなった
パパのお葬式

—今思えば
あの時から
変だった

ママ：
大丈夫？

カケルくん…

…うん
カケルくん…
ありがとうね…

その
おじさんは

舐めまわす
ように
ずっと…

ママのことを
見つめていました

—2年後

あれから僕は
ずっとママと
ふたり暮らしを
しています

これからは
もっと節約
しないとね

お外で食べる
ご飯はめったに
なくなつて

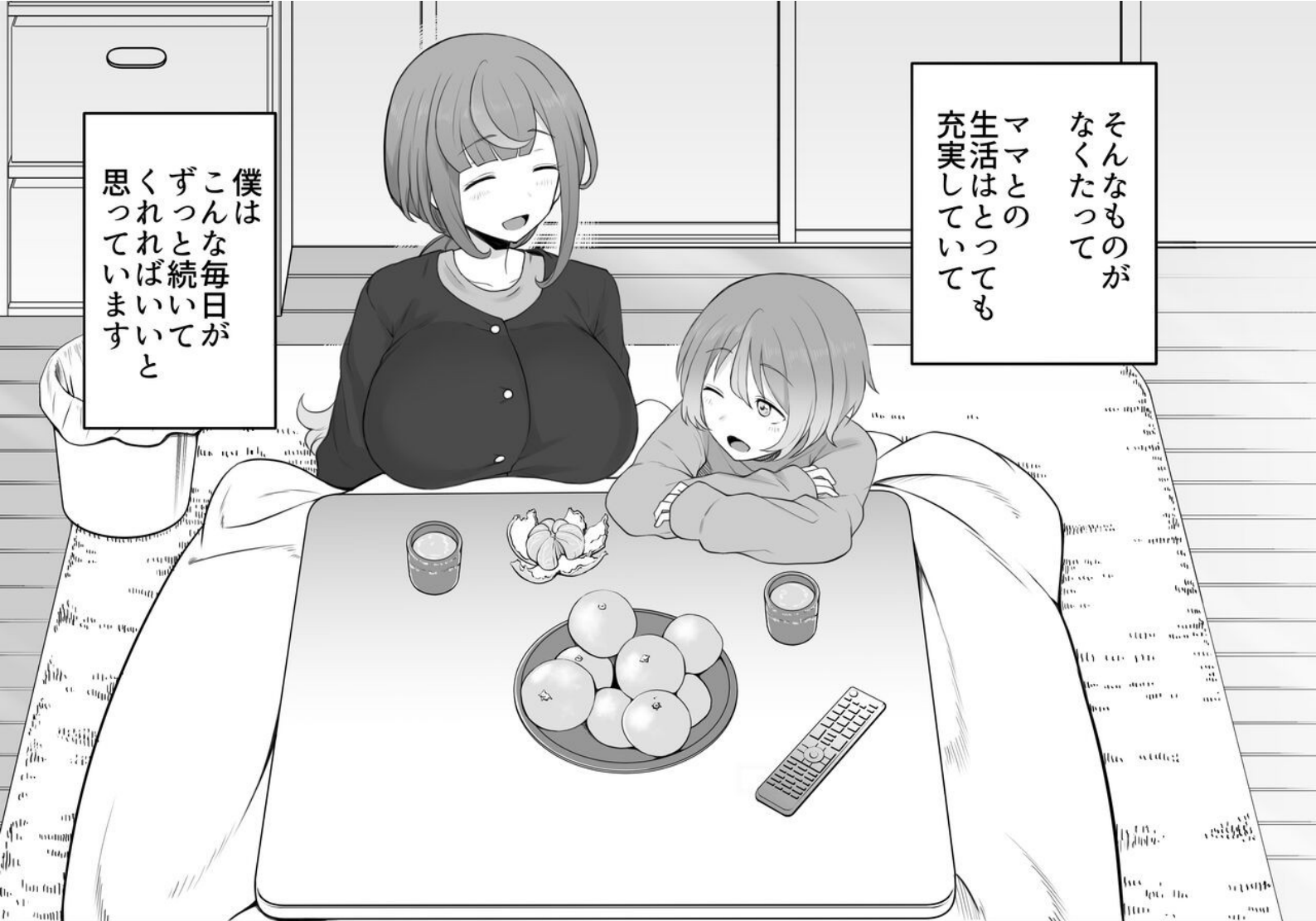
友達と比べて
ゲームも全然
買ってもらえない

引っ越した
アパートは

以前住んでいた
マンションより
狭いし

自分の部屋
だつてまだない

……それでも



そんなものが
なくなつて
ママとの
生活はとっても
充実している

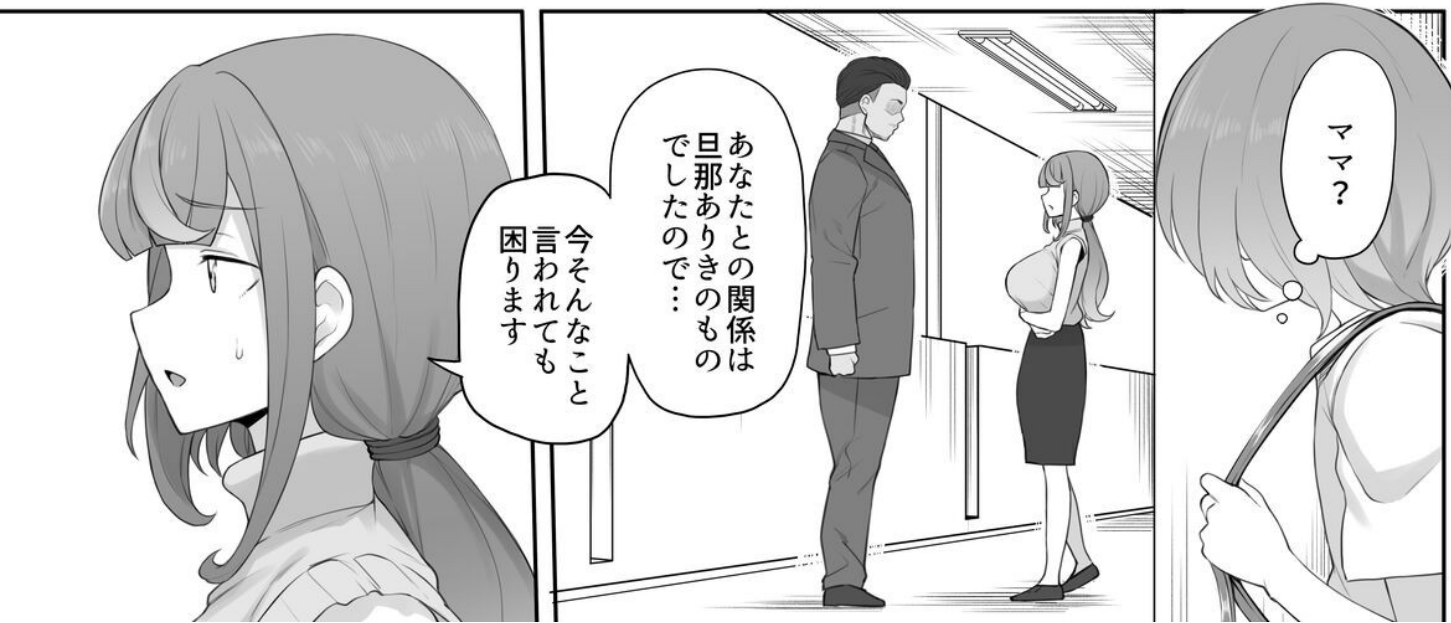
僕は
こんな毎日
がずっと続
いていく
と思つて
います



ママ：
今日はもう

お仕事から
帰ってきてる
かな

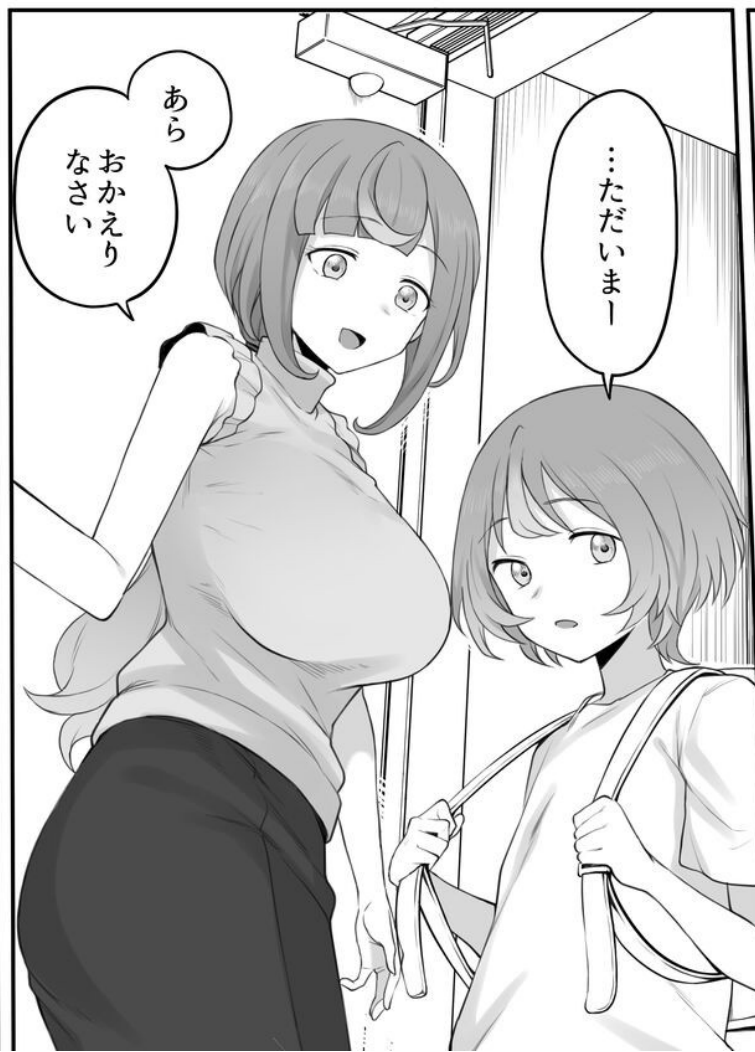
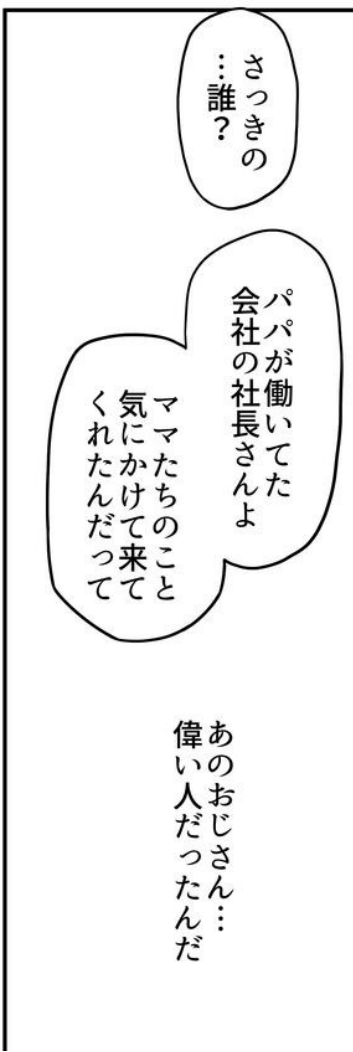
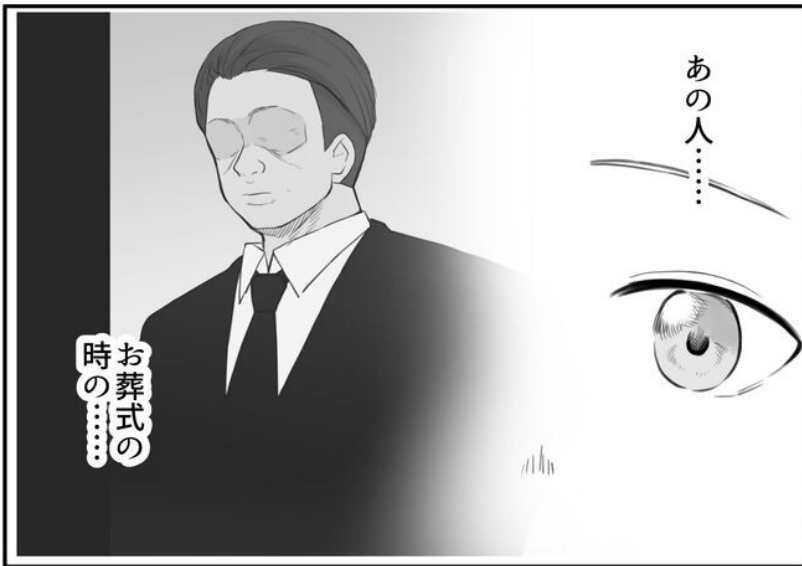
…結構です



ママ？

あなたとの関係は
旦那ありきのもの
でしたので…

今そんなこと
言われても
困ります









ありがとうございます！
おじさん！

うん！



ふふ…
おいしいかい？



キミのパパには
とても感謝
しているからね

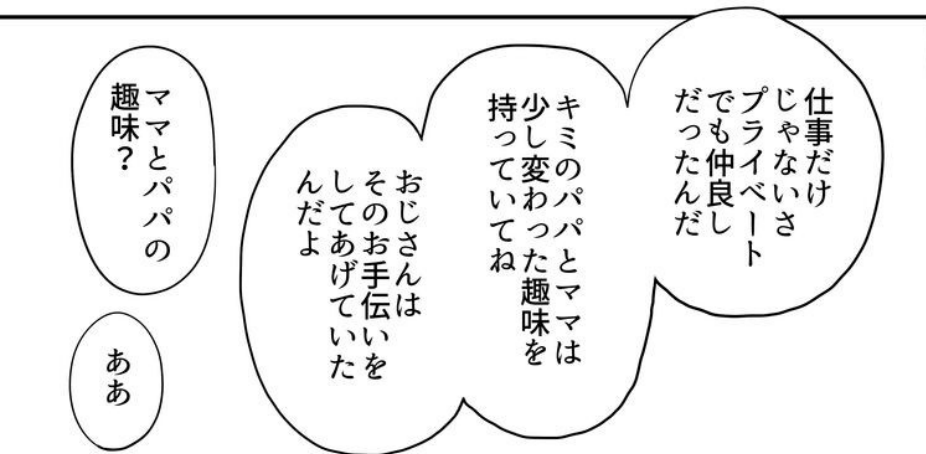
デッカくて
コワイおじさん
だと思ってたけど

とっても
イイ人だ！



僕…なんでも
好きなもの
頼んでいいなんて
久しぶり！

はっはっは
遠慮せず
もつともつと
食べなさい



仕事だけ
じゃないさ
プライベート
でも仲良し
だったんだ

キミのパパとママは
少し変わった趣味を
持っていてね

おじさんは
そのお手伝いを
してあげていた
んだよ

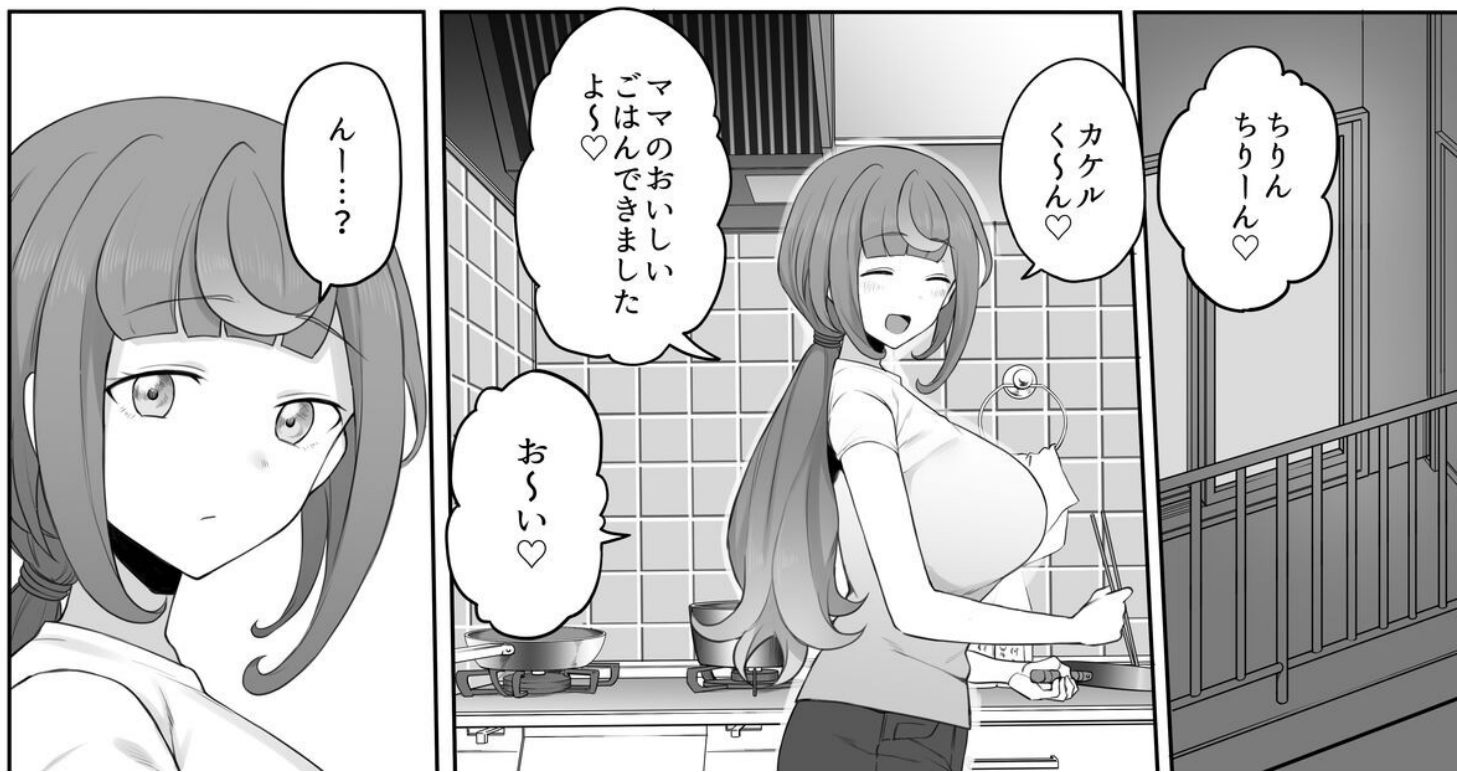
ママとパパの
趣味？

ああ



ママも
社長さんには
お仕事でお世話に
なっただけ言ってた

…ははは







ほらとつても
仲良しだろう

仲のいい
大人の男女は
ああやって
身体を
くっつけて
遊ぶんだ

でもね

キミのパパは
変態さんであ

ママとおじさんが
それをしてるのを

見るのが好き
だったんだ

ママも
最初こそ
嫌がってたん
だけど…

せいか…♡

せいか…♡

すっぴん♡

すっぴん♡

ドゥン♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡





こんな
幸せそうなママの顔
見たことないだろう

パパは自分の
ちっちゃい
おちんちんじゃ
こんなママの顔を
見ることが
出来ないんだ

だから
おじさんが代わりに
見せてあげていた

でも…
こんなことを
繰り返している
うちにね…

びくん、びくん、
びくん、びくん、
びくん、びくん、



ママはだんだん
おじさんのことも

好きに
なってきた
しまったんだ

痛くなかった
かい？

...え...？
...はい...

良かったです
...とても...♡

パパの手前
決して口には
しなかったが...

抱いてる
おじさんには
丸わかりだった

パパの方は
最後まで気付いて
なかったけどね

彼が亡くなってから
ママは落ち着いて
これまで私と
距離を置いていたが

彼女もあんな
刺激的な毎日を
簡単に忘れられる
わけがない

時間をかけて
ようやく
あと一歩のところ
まできた

もし
おじさんと
ママがもう一度
仲良くなれば

ママは
大好きだった
おじさんの
おちんちんで
幸せだし

カケルくんも
好きなものを
好きなだけ
食べられるよ

ひろーい
おうちにも
お引越した

それに――

じゃあパパも
ちやちやっとな
出しちやおう
ね♡

あー♡

あ…っ♡
待って♡
星香…っ♡

セックス…♡
セックス…♡
したいっ♡

あんなに…
我慢した
の…♡

フェラだけで
抜かないで♡

カケルくんが
知らない
ママのえっちな
裏の顔…

もっともっと
いっぱい見せて
あげられるよ

パパのチンポ
終わりー…♡

手伝って
くれるかい？



ママとパパが
どうして
あんなことを
していたのかを
僕には分からない

……でも

い……
いやだっ……

こんなの
おかしいよっ

おじさんは
やっぱ悪い人だ

ママが
パパ以外の人を
好きになるわけ
ないもん！

おじさんなんか
ママをやるもんか！

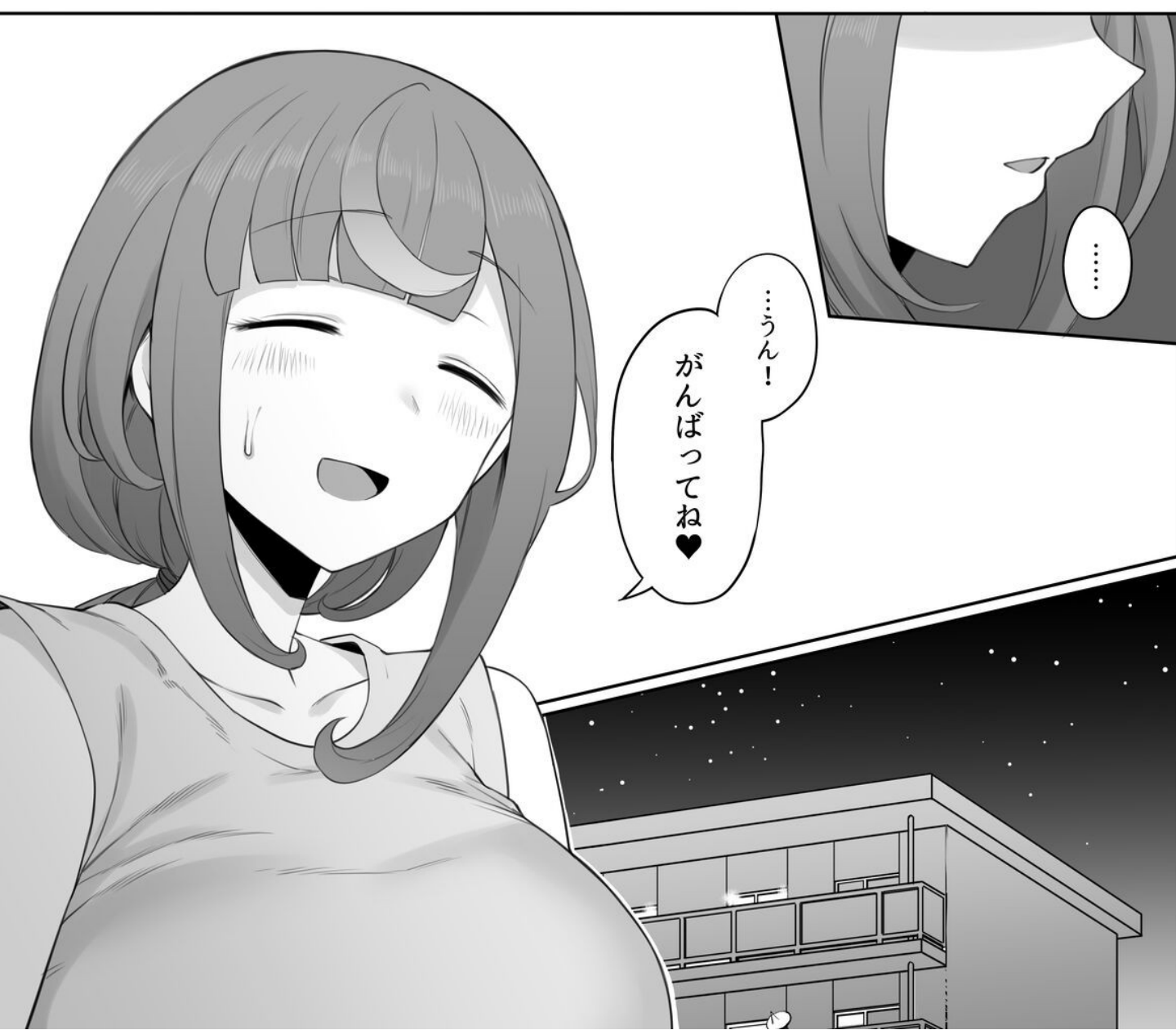
ママは僕が
幸せにする……！

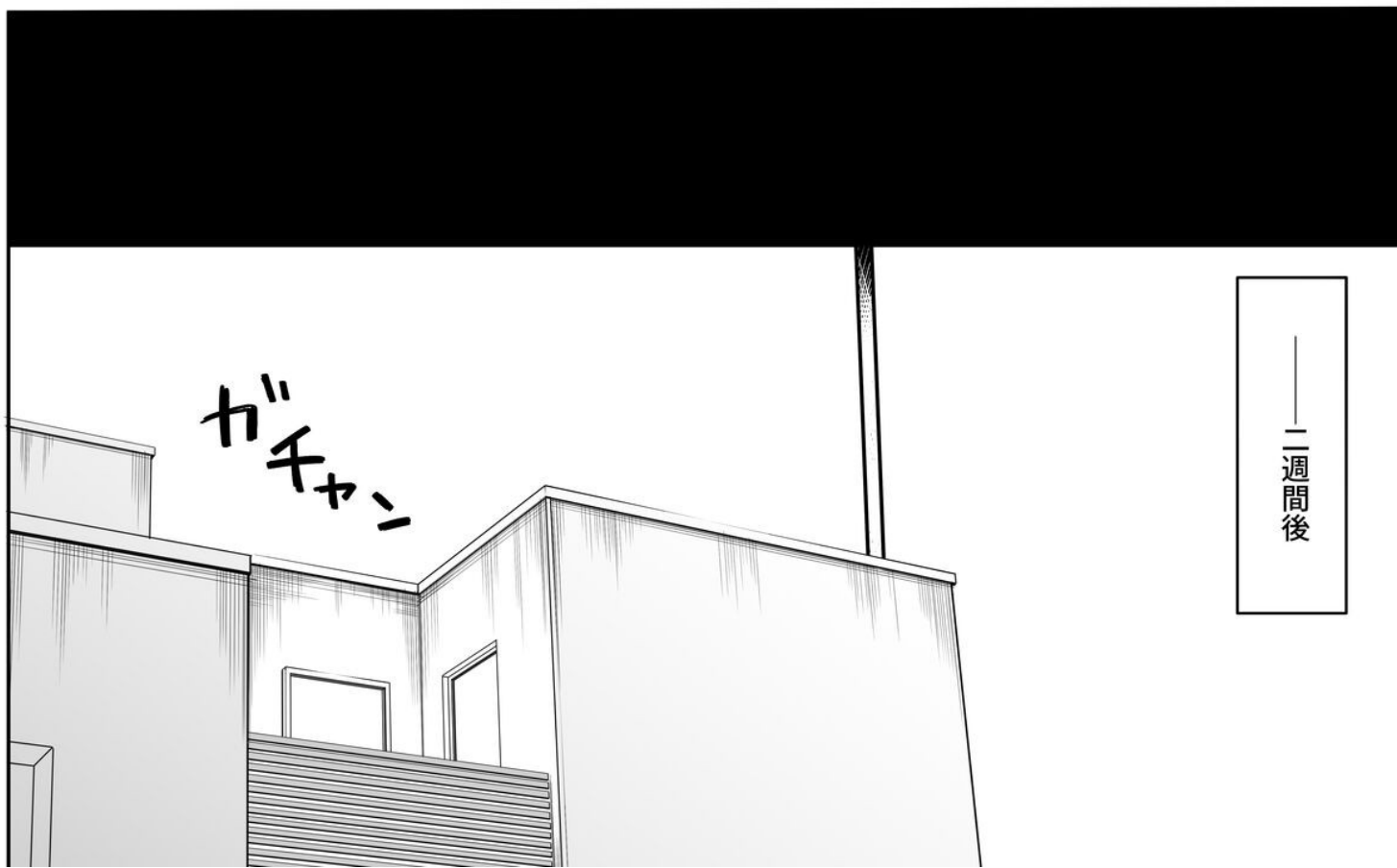
カケルくん
元気になって
良かったー♡

ごはん
おいしい？

うん

本当はレストランで
いっぱい食べたから
ちよつと気持ち悪いけど……





待ってたぞ

ウチは
久しぶり
だろう

セイカさん

さあ…
入って入って

お金の…

息子のため
ですから…

…ああ
分かってる
とも

たくさん
稼がせて
やるさ…♥

ぐい…



こんな身体を
あのボロアパートで
もて余すなんて
もったいない！っ♡

ケチなパート
なんて明日にでも
やめなさい♡

あゝ
むにゅっ♡

むにゅ♡

ぐにゅ♡

ぐにゅ♡



そうか
そうか♡

ちゅっ♡

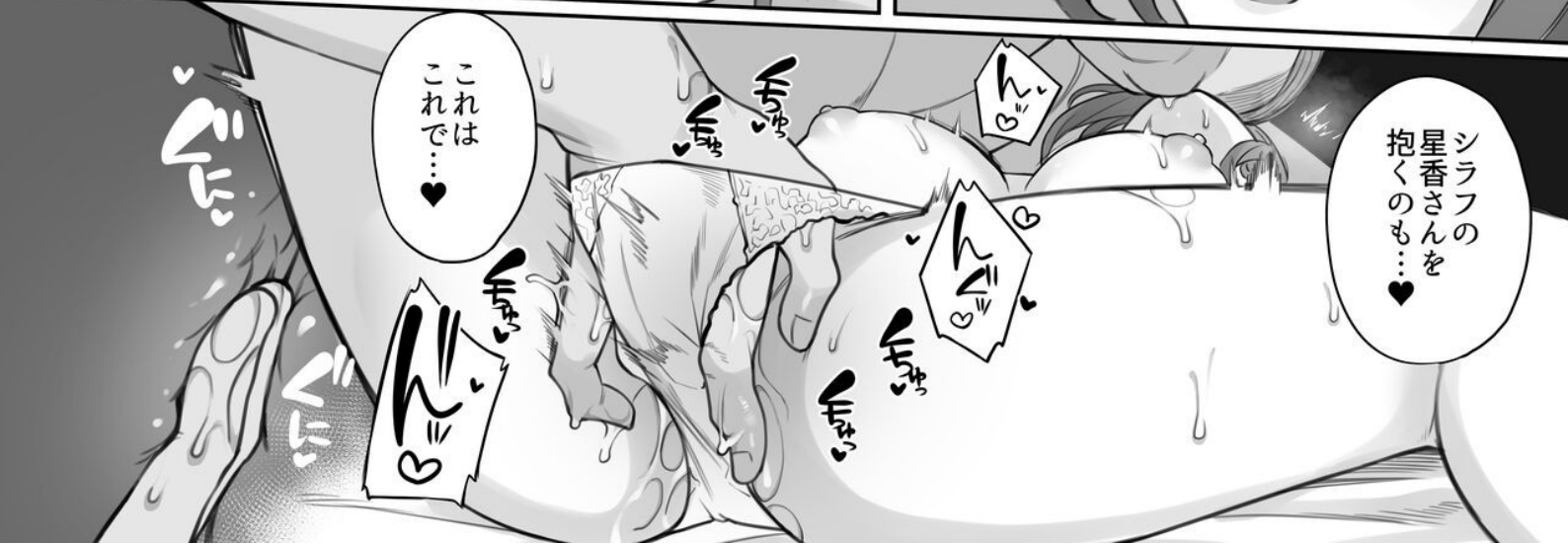
んっ♡

あの人の見てない
ところで
飲まされたら
何されるか...っ



お酒は
どうする？

いりません



シラフの
星香さんを
抱くのも...♡

これは
これで...♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡



たふたふ

たふたふ

ん

ん

パパみたくに…
回だけで
出してくれば
楽なのに…っ

ん

よし…
そろそろ
いいぞ

そうは
いかに
わね

ぬ

ぬ

ぬ

おはあ…っ



ぬ

それじゃ
久しぶりに…

おじやま
しますと…っ

おはあ…っ

おはあ…っ

あなた…
ごめんね…っ

おはあ…っ

カケルくんの
ためだから…っ

ぬ

あーこれこれ…
星香さんの感触♥



ムスコが
覚えてるぞ♥

私も…
体が覚えてる

この人の
バック…っ



気持ちよく
なってくるぞ…っ

だんだん前に
体重がかかって
…っ

きた…っ♥

どんどん奥に…
深く…っ♥♥♥

あの人みたいなの
線が細い男の人
にはできない…っ

押しつぶす
ような
寝バック…っ♥

きもちい…♥







じゅく？

そ…そう
どうかな？

もつともつと
成績あげるなら
学校のお勉強
だけじゃ足り
ないかなって

…ママとの
時間が減っちゃう
のはちょっと
やだけど…

うん！
僕…行つて
みたいかも



えらいわう
カケルくん♡

…じゃあ

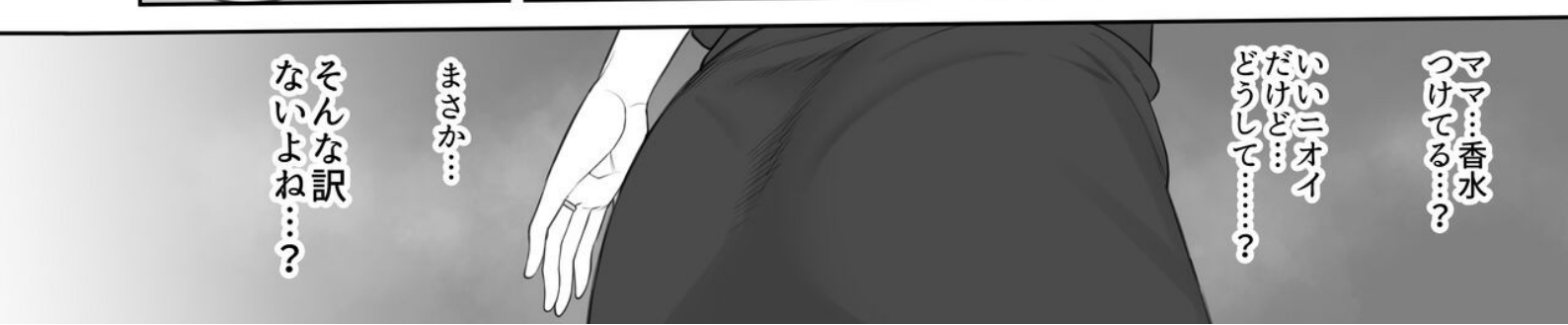


！
？



ママも
もつと…
稼がないと…

ボソ…



ママ…香水
つけてる…？

いいニオイ
だけど…
どうして…？

まさか…

そんな訳
ないよね…？



今日の
星香さんは
一段と
エロいな♡

君もそう
思うだろ

花井…♡

マゾ夫がいなく
なった後も…♡

ほれ
私たちは仲良く
やっているよ♡

ほれ

また…♡

イカされ…♡



たんっ♡

ふー…っ♡

はま♡

あ♡

やはりこの
見せつけプレイが
一番盛り上がる…♡

星香さんも
これはじめてから
抱かれに来る
ペースが上がって
しまったな…♡

息子を学習塾に
追いやって…
悪いママだ♡

次…
正常位
いくぞ♡

たんっ♡

たんっ♡

たんっ♡

むい

あゝ

ん♡
べい

ブルブル

ち…ちが…♡
カケルくんのお
ために…もつと
稼がなくちゃ…♡

ふふふ…
ダメダメ

その言い訳は
もう使えない…♡

忘れたわけじゃ
ないだろう？

ズン
ズン

いふん

あ♡

ん♡

ん♡

先週末のことを――

いやー……
呼び出しておい
て本当にすま
ないね……
二日酔いで頭
痛くて……

金だけ
渡すから
今日はもう
帰るなさい

え……

……でも……その……
いいんですか……？

言われた通り
オ……オナ……
自慰も我慢して

あの人の
写真も持って
きたのに……

ん？

なんだ

もしかして
シたいのか？

え……っ？
あ……

いえ……

そういう……
わけじゃ……

……

あんな肉欲に
まみれた雌の目で
哀願されたらなあ……♡



目隠しに…

ノイズキャンセリング
機能付きのイヤホン

ドクン…
ドクン…

マゾな
星香にはたまらん
プレイだろう…♡

今日は
酒もたんまり
飲んで…

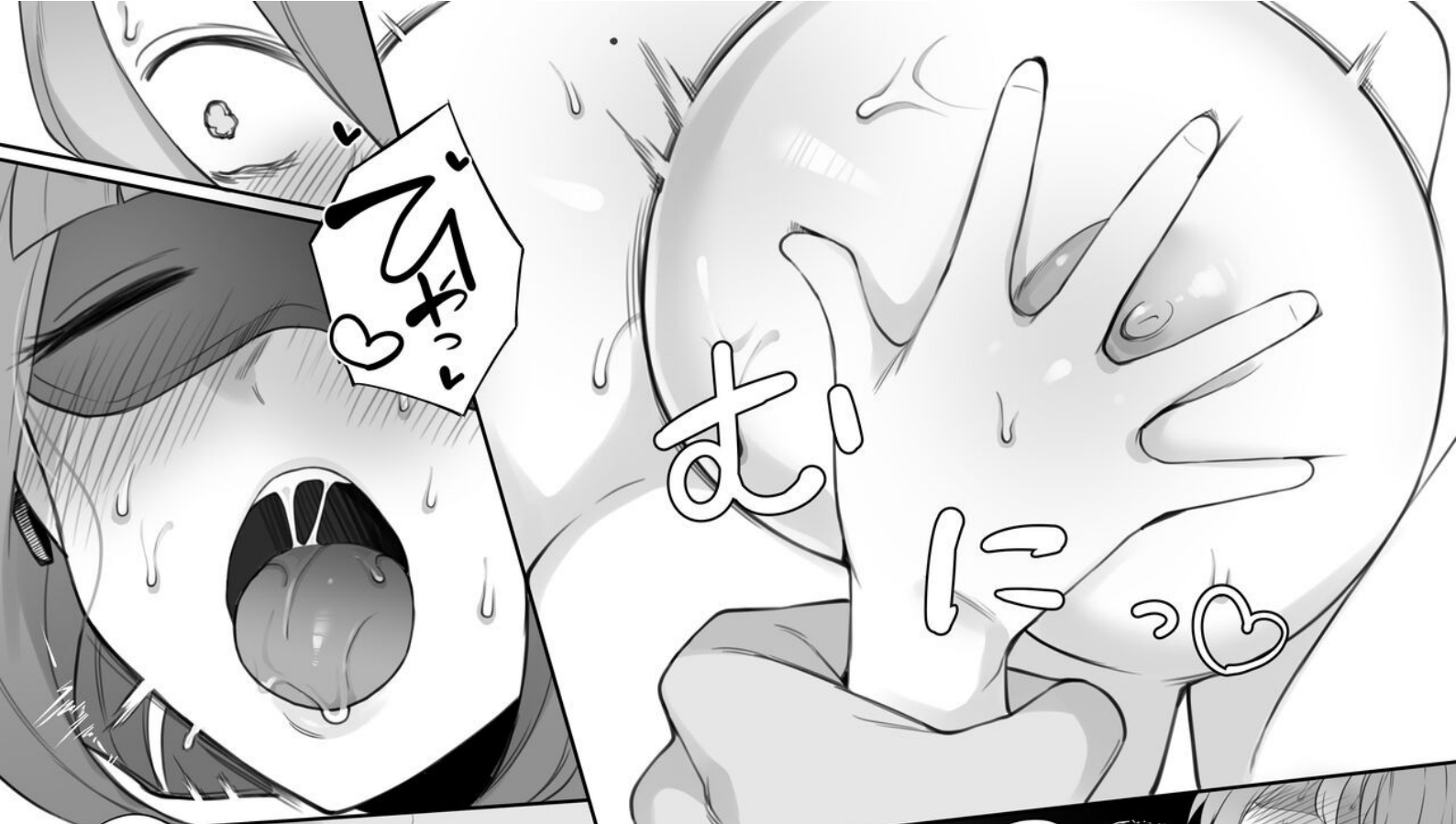
これでもう
どこから
何がくるか
分からない

おーい
もう大丈夫だ

出てきなさい

準備完了
だな♡

ぬちゅ…



むにっ♡

あっ♡♡♡



ありがとう
カケルくん

あ…
あ…

君のおかげで
スムーズに
すすんだよ

お礼にほれ…
星香の乳を
もませてやる♡

極上モノ
だよ…♡
キミのママは

こんなママを
持つのは逆に
不幸だな

あ♡♡

は♡♡



これから先
どんな女に
出会っても…

ママ以上は
いないだろう

おわりだ

最後に
いっぱい触れて
良かったな

もうこれは
私と…

私達の子供の
ものだ…♡

ぶっ♡♡

ぽん♡♡

ぽん♡♡



こっ...
子供っ...?

ふふ...

カケル
くんは

妹と弟
ほとっ
ちが

まあ
デキてからの
お楽しみだ...♡

3人は
産ませるぞ♡

私の種で...
そうだな





♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

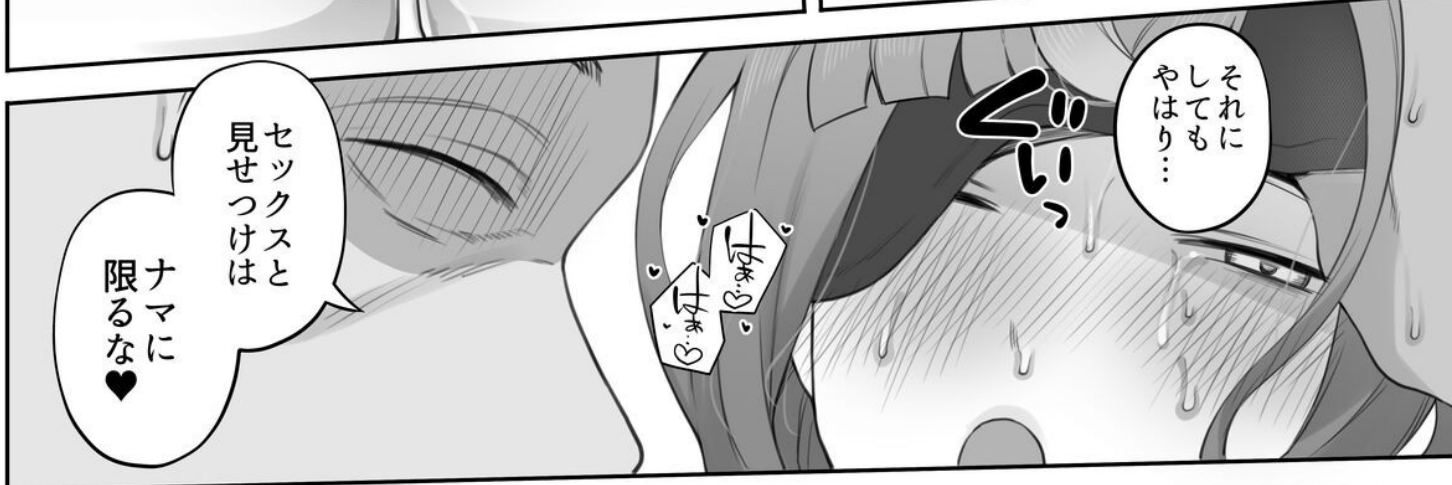
♡♡♡

たっ♡...

♡...

♡♡♡

♡♡♡



?????

カケルくんが…
ここにいてるわけ
ないよね…

フワ フワ

頭ぼーっとして…
なにがなんだか…

飲みすぎ
ちやった
かしら…っ



は…は…
は…は…

……え…
カケルくん……

なにやってるの…?



ママ…

ママあ…っ
♥

グハッ

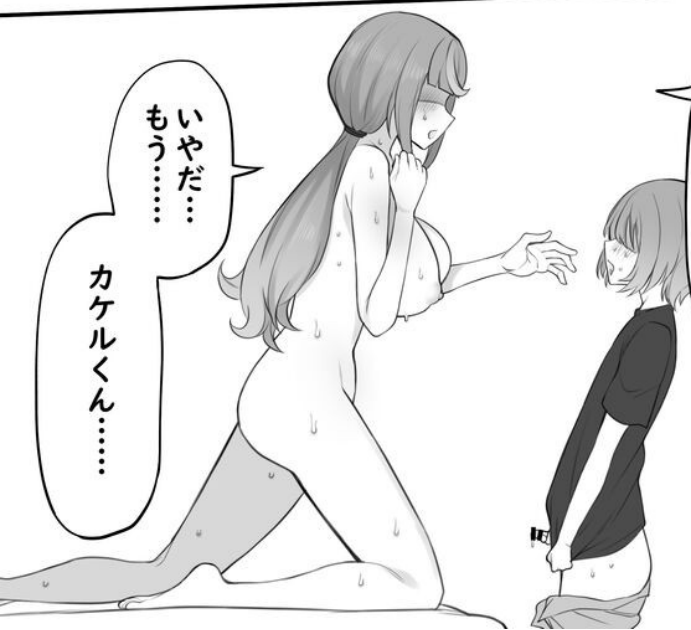


ドクドク

だ…
だめじゃない…
ママのえっち見て…
おちんちん…そんな
いじったりしちゃ…

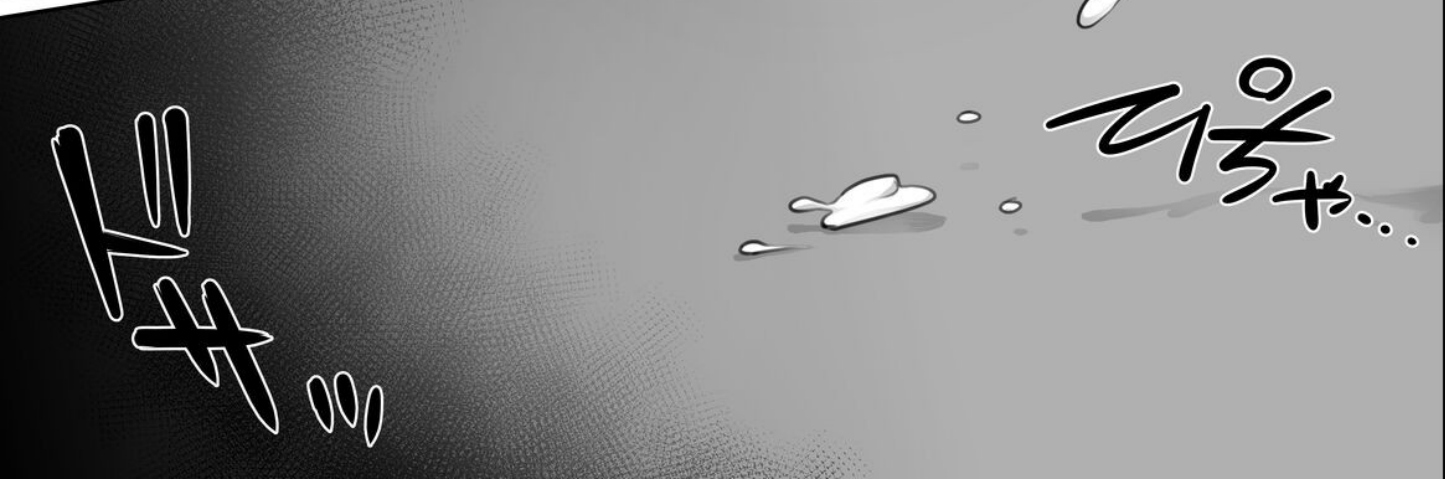
いやだ…
もう…

カケルくん……





そぱくにり...♡



目が覚めると
僕は自分の家の
布団で寝ていて……

ママは……

おはよう
カケルくん

朝ごはん
どうする？

まるで何事も
なかったかのように
いつも通り
接してきました

お酒が
入ってて
記憶が
曖昧なのか

あえて何も
触れていない
のかは分からな
かったけど

……食べる

いつもの
ママを見て
ひどく安心
した僕は……

何も
問い詰めず
今まで通りに
暮らして
いくことを
決めました

それから
しばらくして

僕とママは
少し広めの
アパートに
引っ越ししました

そして

ただいま……



アイツに
そっくりな弟が
ママのおっぱいを
吸ってどんどん
大きくなる姿を見て

喪失感と
敗北感と

ちゅくっ

えもいわれぬ
性的興奮を
覚えます

僕は
それをネタに
与えてもらった
自分の部屋で
毎日オナニー
しています

今なら
パパの気持ち
分かるよ

たぶん僕は
どうしようもなく

あの日見た
動画の中の
パパに
そっくりだ



久々にちょっと長めの漫画を描きました。
色々と苦戦してしまったのですが
少しでも楽しんでいただけたら幸いです。
2022年は作品をたくさん作る年にしたいです。

発行 ドーシア
著者 テラスMC

Twitter @terasumc
pixiv 【11701235】

PIXIV FANBOX <https://terasumc.fanbox.cc/>
fantia <https://fantia.jp/fanclubs/4484>

連絡先 madaramanbo@gmail.com

発行 サングループ



